

液体窒素 手動汲み出し手順 ＜故障時・停電時＞

2013.10.01(改訂版)

千葉大学理学部極低温室

<計画停電の対応について>

下記理由により実際に停電が行われていなくても手動操作による汲み出し対応に切り替わっていることがあります。

- ・停電前に自動供給装置をシャットダウンする必要があるため、早朝からの停電の場合は前日夜間から手動操作による汲み出し対応に切り替わっている場合があります。
- ・復電後に自動供給装置を起動させる必要があるため、夜遅い時間に復電する場合はその後も夜間は手動操作による汲み出し対応のままの場合があります。
- ・土日祝など担当職員が不在になる場合は、不在になる前の晩から次回出勤する日の朝まで手動操作による汲み出し対応になっている場合があります。
例：金曜の晩から月曜の朝まで

<汲み出し手順>

1. 停電時は入口ゲートは開いています。

施錠されている場合は利用者バーコードで開錠します。

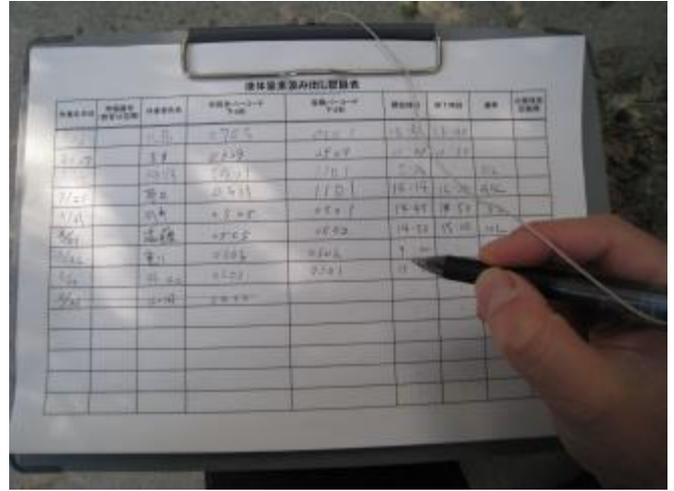


停電時など電力供給がない時は開錠されます。中に閉じ込められることはありませんのでご安心ください。

故障時は状況によって施錠されている場合や開錠されている場合があります。

2.記録簿へ必要事項を記入します。

記録簿は扉の中にしまっています。記録用紙は新しい用紙を余分に重ねて挟んでありますので記録が一杯の時は新しい用紙を一番上に挟み直してください。



3.臨時汲み出しホースをセットして汲みます。

操作するバルブのハンドルは通常利用の手動弁から臨時利用弁へ付け替えてあります。



操作は臨時弁を操作するだけとなります。他の操作はありません。これ以外のバルブは絶対に操作しないでください。



4. 液が容器から溢れたら終了です。

手動バルブにて流量をうまく調節してください。勢いが強いと激しく溢れるため飛沫には十分にご注意ください。



5. 臨時汲み出しホースを元の位置に戻します。

※臨時バルブ以外は絶対に操作しないでください。

※わからない場合や不具合がある場合は担当職員へご連絡ください。

連絡先： 理学部極低温室 043-290-2875 担当吉本